

平成26年度

亀山東部処理分区下水管渠布設工事（その1）

数 量 計 算 書

（開 削 工）

亀山市 建設部上下水道局下水道室

数 量 集 計 表

(補 助)

龜山市 建設部上下水道局下水道室

管 布 設 工 集 計 表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 150		m	90.80	90	
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 200		m	—		
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 250		m	—		
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 300		m	—		
硬質塩化ビニール管	φ 150 ゴム輪受口		本	21.0	21	
硬質塩化ビニール管	φ 150 プレーンエンド		本	1.7	2	
硬質塩化ビニール管	φ 200 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 200 プレーンエンド		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 250 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 250 プレーンエンド		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 300 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 300 プレーンエンド		本	—		
マンホール継手工	φ 150	ゴム輪受口 可とう継手	個	3	3	
マンホール継手工	φ 200	ゴム輪受口 可とう継手	個	—		
マンホール継手工	φ 250	ゴム輪受口 可とう継手	個	—		
標識埋設シート			m	90.35	90	
砂基礎工			m ³	—		
砂基礎工			m ³	—		
砂基礎工			m ³	25.28	25	
砂基礎工			m ³	—		

土留工集計表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設計数量	備 考
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	66.80	66	
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 3段		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 2段		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 1段		m	66.80	66	
素掘			m	26.70	26	

1号組立マンホール工 集計表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
マンホール蓋	T-25 亀山市型		組	—		
マンホール蓋	T-14 亀山市型		組	3	3	
調整モルタル	20mm～70mm		箇所	3	3	
調整リング	50mm		個	1	1	
調整リング	100mm		個	—		
調整リング	150mm		個	—		
斜壁ブロック	300mm		個	2	2	
斜壁ブロック	450mm		個	1	1	
斜壁ブロック	600mm		個	—		
直壁ブロック	300mm		個	—		
直壁ブロック	600mm		個	—		
直壁ブロック	900mm		個	—		
直壁ブロック	1200mm		個	—		
直壁ブロック	1500mm		個	—		
直壁ブロック	1800mm		個	—		
躯体ブロック	600mm		個	—		
躯体ブロック	900mm		個	2	2	
躯体ブロック	1200mm		個	1	1	
躯体ブロック	1500mm		個	—		
躯体ブロック	1800mm		個	—		
底版ブロック	h=130mm		個	3	3	
削孔工	φ100mm		箇所	—		
削孔工	φ150mm		箇所	—		
削孔工	φ200mm		箇所	—		

数量集計表

(効果促進)

龜山市 建設部上下水道局下水道室

管 布 設 工 集 計 表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 150		m	90.80	90	
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 200		m	—		
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 250		m	—		
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 300		m	—		
硬質塩化ビニール管	φ 150 ゴム輪受口		本	21.0	21	
硬質塩化ビニール管	φ 150 プレーンエンド		本	1.7	2	
硬質塩化ビニール管	φ 200 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 200 プレーンエンド		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 250 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 250 プレーンエンド		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 300 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 300 プレーンエンド		本	—		
マンホール継手工	φ 150	ゴム輪受口 可とう継手	個	3	3	
マンホール継手工	φ 200	ゴム輪受口 可とう継手	個	—		
マンホール継手工	φ 250	ゴム輪受口 可とう継手	個	—		
標識埋設シート			m	90.35	90	
砂基礎工			m ³	—		
砂基礎工			m ³	—		
砂基礎工			m ³	25.28	25	
砂基礎工			m ³	—		

土留工集計表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設計数量	備 考
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	66.80	66	
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 3段		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 2段		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 1段		m	66.80	66	
素掘			m	26.70	26	

1号組立マンホール工 集計表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
マンホール蓋	T-25 亀山市型		組	—		
マンホール蓋	T-14 亀山市型		組	3	3	
調整モルタル	20mm～70mm		箇所	3	3	
調整リング	50mm		個	1	1	
調整リング	100mm		個	—		
調整リング	150mm		個	—		
斜壁ブロック	300mm		個	2	2	
斜壁ブロック	450mm		個	1	1	
斜壁ブロック	600mm		個	—		
直壁ブロック	300mm		個	—		
直壁ブロック	600mm		個	—		
直壁ブロック	900mm		個	—		
直壁ブロック	1200mm		個	—		
直壁ブロック	1500mm		個	—		
直壁ブロック	1800mm		個	—		
躯体ブロック	600mm		個	—		
躯体ブロック	900mm		個	2	2	
躯体ブロック	1200mm		個	1	1	
躯体ブロック	1500mm		個	—		
躯体ブロック	1800mm		個	—		
底版ブロック	h=130mm		個	3	3	
削孔工	φ100mm		箇所	—		
削孔工	φ150mm		箇所	—		
削孔工	φ200mm		箇所	—		

各種数量計算書

龜山市 建設部上下水道局下水道室

管路土工集計表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
残土処分工					-					-
残土処分工	20.49				20.49					-
残土処分工	86.69	48.46			135.15	9.26	23.18			32.44
残土処分工		13.42			13.42					-
残塊処分工					-					-
残塊処分工	6.42				6.42					-
残塊処分工	7.86	5.30			13.16	1.04	2.27			3.31
残塊処分工					-					-
建設廢材処理費	14.28	5.30			19.58	1.04	2.27			3.31
流用土運搬(往路)	63.11				63.11					
流用土運搬(復路)	63.11				63.11					
流用土運搬(往路)	348.11	164.44			512.55	20.44	60.22			80.66
流用土運搬(復路)	348.11	164.44			512.55	20.44	60.22			80.66
流用土運搬(往路)		55.78			55.78					
流用土運搬(復路)		55.78			55.78					
積込工(流用)	411.22	220.22			631.44	20.44	60.22			80.66
残塊処分工					-					-
残塊処分工					-					-
石棉管撤去積込工					-					-
汚泥処分工	1.20				1	0				0

管 布 設 工 集 計 表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	342.00	195.73			537.73	28.70	62.10			90.80
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)					—					—
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)					—					—
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)					—					—
硬質塩化ビニール管	304.00	184.00			122.00	24.00	60.00			21.00
硬質塩化ビニール管	38.00	11.73			12.43	4.70	2.10			1.70
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
マンホール継手工	22	21			43	3				3
マンホール継手工					—					—
マンホール継手工					—					—
標識埋設シート	339.60	195.06			534.66	28.40	61.95			90.35
砂基礎工					—					—
砂基礎工	17.66				17.66					—
砂基礎工	77.09	40.79			117.88	6.25	19.03			25.28
砂基礎工		13.02			13.02					—

土留工集計表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
軽量鋼矢板 設置撤去工	35.20				35.20					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工	84.20	65.00			149.20	3.80	63.00			66.80
軽量鋼矢板 設置撤去工	132.40				132.40					—
軽量鋼矢板 設置撤去工		44.20			44.20					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工		26.40			26.40					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量金属支保材 設置撤去工					—					—
軽量金属支保材 設置撤去工	120.40	44.20			164.60					—
軽量金属支保材 設置撤去工	131.40	91.40			222.80	3.80	63.00			66.80
素掘	104.6	65.0			169.60	26.70				26.70

1号組立マンホール工 集 計 表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
マンホール蓋					—					—
マンホール蓋	10	10			20	3				3
調整モルタル	10	10			20	3				3
調整リング	2	3			5	1				1
調整リング	1	2			3					—
調整リング					—					—
斜壁ブロック	5	4			9	2				2
斜壁ブロック	5	5			10	1				1
斜壁ブロック		1			1					—
直壁ブロック					—					—
直壁ブロック					—					—
直壁ブロック					—					—
直壁ブロック					—					—
直壁ブロック					—					—
直壁ブロック					—					—
直壁ブロック					—					—
躯体ブロック					—					—
躯体ブロック	2	3			5	2				2
躯体ブロック	7	1			8	1				1
躯体ブロック	1	2			3					—
躯体ブロック		4			4					—
底版ブロック	10	10			20	3				3
削孔工		2			2					—
削孔工	12	11			23					—
削孔工					—					—

1号組立マンホール工 集計表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
削孔工					-					-
底部工	10	10			20	3				3
底部工					-					-
底部工	2				2					-
ブロック据付工	10	10			20	3				3
ブロック据付工					-					-
同径支管					-					-
副管取付工		1			1					-
副管取付工	1	1			2					-

各 種 計 算 書

カッター汚泥量算出表

補助【発生汚泥量】

・ アスファルト舗装版厚t=5cm	0.023 × 742.2 m × 0.05 m =	施工延長 (m) 舗装切断深さ (m) =	0.85 m ³
・ コンクリート舗装版厚t=10cm	0.023 × 145.6 m × 0.1 m =	=	0.33 m ³
合計			1.2 m ³

効果促進【発生汚泥量】

・ アスファルト舗装版厚t=5cm	0.023 × 187.0 m × 0.05 m =	施工延長 (m) 舗装切断深さ (m) =	0.2 m ³
-------------------	----------------------------	-----------------------	--------------------

各種計算法

管内調査

【補助】

- M321-2-2-4 ～ M321-2-1-1 L= 53.7 m
- M321-2-1-1 ～ M321-3-1 L= 56.0 m
- M321-1-3 ～ M321-1-4 L= 65.0 m

合計

ΣL= 174.7 m

各種計算法

管内調査

【補助】

• M321-1-4 ~ M321-1-5

L= 63.0 m

合計

$\Sigma L = 63.0$ m